

会 議 録

会 議 の 名 称	熊谷市都市計画マスタープラン・立地適正化計画 【中央地域】市民説明会
開 催 日 時	令和3年11月28日(日) 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前12時00分
開 催 場 所	熊谷市立商工会館 大ホール
出 席 者	【事務局】熊谷市都市整備部都市計画課 【市民】9名
会 議 の 議 題	議題1 熊谷市都市計画マスタープラン(案) 議題2 熊谷市立地適正化計画(案)

発言者	発言の要旨
	質疑応答
市民	今回の策定において、市街化区域の全面的な見直しは無いような気もするのですが、見直しはしないのですか。
事務局	立地適正化計画では、今までの市街化区域と市街化調整区域の枠組みはそのまま、市街化区域の中で、特に住んでほしい場所を選んでいきます。工業系の土地利用を行う箇所や荒川が決壊した場合に家ごと流されてしまう恐れがある箇所などは、市街化区域内でありながらも、居住誘導区域として適さないと判断させていただいています。ただし、市街化区域として変わりはないので、水害リスクがある場合には堅ろうな建物にさせていただくなどの対策が必要となる可能性もありますが、住宅を建てることはできます。
市民	立地適正化計画と税金の関係はどうなるのでしょうか。
事務局	市街化区域内で居住誘導区域から外れたところや入ったところであっても、土地の鑑定評価上大きな差は生じないと聞いているため、税金として影響は少ないと考えています。
市民	防災指針について、災害ハザードマップが全市民に配布されていますが、ハザードマップと防災指針は総合的に考えられているのか、お聞きしたいです。
事務局	防災指針については、令和2年に配布された最新情報の災害ハザードマップをもとに作っています。
市民	20年にわたる計画になっているため、若い世代の住民に参加していただきたいです。
市民	居住誘導区域は、人を集めて人口維持につなげるエリアとして設定することだと思いますが、具体的に中央地域の誘導エリアの人口の目標数値等あればお聞きしたいです。
事務局	現状で中央地域には約6万3千人が住んでおり、市全体の32%になります。目標の設定は、地域ごとにはありませんが、市全体の居住誘導区域内の人口密度の低下を抑制したい考えです。人口総数が約2割減少する予測がありますが、

発言者	発言の要旨
市民	<p>89%くらいまでの減少幅に抑えたいという目標を掲げています。</p> <p>都市機能誘導区域に設定し、市としてどのようなものを誘致していきたいのかをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>都市機能誘導区域に誘導する施設は、商業・医療・福祉が主にあり、外からの居住の誘致も大事ですが、今いる住民に住み続けてもらうことも必要となります。そのためにも、まちとして魅力があることが必要だと考えられ、例えば、市民体育館の建て替えもその1つとして予定しています。また、都市計画としては、南口全体の賑わいも必要となります。休日夜間診療所の建て替えも検討されており、新しくすることで子育てがしやすいまちを目指し、全体として魅力のあるまちにしたい考えです。</p>
市民	<p>人口減少や高齢化が進む中で、どのような方を対象として居住を誘導するのでしょうか。子育てだけでなく、高齢者にとっての環境を検討する必要があり、高齢化を視野に入れた施策は何かあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画もすぐに居住誘導区域に人を集積させたいわけではなく、少しずつ段階的に進めていきたいと考えています。高齢者の方々も出歩きやすくなるような公共交通の充実を図る必要があると考えており、高齢者の方を計画の方針から排除するといった考えはありません。</p>
市民	<p>市をコンパクトにする中で公民館等の統廃合は考えているのか、人々を集積することは本当にできるか、高齢化が進む中で、医療や福祉の政策はとられているのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>公共施設の統廃合については、個別施設計画を策定しています。公民館も3つを1つにすることや機能を上げることなどの計画が作られていますが、そこまでの移動手段については、地域公共交通計画を来年度改定する予定になっており、都市計画マスタープランと整合させながら進めていく予定です。</p>
市民	<p>高齢化は高齢者が増えることだけでなく、独居生活が増加することが考えられます。若い世帯が出てしまっていると言え、その問題に対してのまちづくりが考えられていないのではないのでしょうか。</p> <p>公民館や学校の統廃合の問題が出ている中で、今までのコミュニティはどんな</p>

発言者	発言の要旨
	<p>ってしまうのかお聞きしたいです。</p> <p>高齢者施設利用者が増えることが想定されることに対しての対策は、人口減少を想定する際に、現在の数字をそのまま参考にするのではなく、若者が出ていくことを想定した予測をしているのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>将来人口の推計には、統計的な手法で過去の傾向も参考に年齢ごとにどのように人口が変化していくのか予測をしています。</p> <p>その他の福祉関連の施策については、福祉部の方に確認して文書で回答させていただきたいと思います。</p>
市民	<p>北部地域振興交流拠点の高次都市機能の誘導、第1中央生涯活動センターとは何のことなのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>北部地域振興交流拠点の高次都市機能の誘導は、中心部のコミュニティ広場に県が主導で交流拠点を作る予定で、高次都市機能とは、遠方からの利用も想定される施設のことです。</p> <p>第1中央生涯活動センターは、公民館と市民活動支援センターの複合施設になりますが、場所は未定です。</p>
市民	<p>「市内外の人が徒歩や自転車等で回遊できる交通ネットワーク」、「文化健康の連携軸に自転車道の整備で賑わいを創出する」、「熊谷駅と拠点を結ぶアクセス道路で賑わいを創出する」「スポーツ文化公園のアクセスの改善」「空家空地の活用」とは具体的に何かお聞きしたいです。</p> <p>また、京都のような観光地ではない熊谷で景観の規制をするねらいをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>市内外の人が徒歩や自転車等で回遊できる交通ネットワークは、地域資源を自転車や徒歩で回れるようなルートを整備します。</p> <p>文化健康の連携軸の自転車道の整備は、安全に自転車で街を巡ってもらえるように、市全体として自転車道のネットワークを整備していきます。</p> <p>熊谷駅と拠点を結ぶアクセス道路は、駅から建て替えを想定している市立体育館までのルートに、店舗が張り付いてもらえないか検討していきます。</p> <p>スポーツ文化公園のアクセスの改善は、自動運転で隊列走行バスが通れるような道路の整備を検討しています。</p> <p>空家空地の活用は、空家バンク、ランドバンク等に取り組んでいくことを考え</p>

発言者	発言の要旨
市民	<p>ています。市でどこまでできるかわからないですが、NPO の支援を考えていきたいです。</p> <p>熊谷で景観の規制をするねらいは、観光地や歴史的地区のようにデザインに即したものではなく、派手になりすぎないようにするためのものです。</p> <p>過去にあった様々な構想は今どうなったのかお聞きしたいです。吉岡地区の学園都市構想、熊谷駅ビルの旅館、西熊谷駅、警察署までの 17 号の拡幅、コミュニティ広場、蚕業試験場跡地などです。今回の計画も計画倒れにならないようにしてほしいです。</p>
事務局	<p>道路については、土地区画整理事業の中で拡幅を予定しています。コミュニティ広場は県の方で構想があり、蚕業試験場跡地には休日夜間診療所等を設ける予定です。</p> <p>詳しくは、お調べした上で文書により回答させていただきたいと思います。</p>

－以上－